

番号：170060

国名：ケニア

担当部署：社会基盤・平和構築部 ジェンダー平等・貧困削減推進室

案件名：ジェンダー視点に立った農業普及推進プロジェクト終了時評価調査（評価分析）

1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参团

2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2017年4月中旬から2017年6月上旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50MM、現地 0.70MM、合計 1.20MM
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
5日	21日	5日

3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：3月29日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送 (〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

提出方法等詳細については JICA ホームページ(ホーム>JICA について>調達情報>公告・公示情報/結果>コンサルタント等契約案件公示(業務実施契約(単独型))>業務実施契約(単独型)公示にかかる応募手続き) (<https://www2.jica.go.jp/ja/announce/pdf/procedure.pdf>) をご覧ください。なお、JICA 本部 1 階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

- (5) 評価結果の通知：提出されたプロポーザルは JICA で評価・選考の上、各プロポーザル提出者の契約交渉順位を決定し、2017年4月11日(火)までに個別に通知します。

4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：

①業務実施の基本方針	8点
②業務実施上のバックアップ体制等	2点
 - (2) 業務従事予定者の経験能力等：

①類似業務の経験	45点
②対象国又は同類似地域での業務経験	9点
③語学力	18点
④その他学位、資格等	18点
- (計100点)

類似業務	各種評価調査
対象国／類似地域	ケニア／全途上国
語学の種類	英語

5. 条件等

(1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。

(2) 必要予防接種：なし

6. 業務の背景

ケニアでは、女性が農業生産労働の70%を担っている。それにもかかわらず、女性農民の生産性は、土地、資本、技術、資本等への限定的なアクセスに起因して、男性農民と比較した場合2～3割程度も低い。こうした中、ケニア農業・畜産・水産省（Ministry of Agriculture, Livestock and Fisheries：以下MOALF）は、2010年に「ジェンダー主流化戦略書」（Gender Mainstreaming Strategy）を策定し、「農業の持続的な生産性と生活の改善のために、ジェンダー視点に立った政策、プログラム、プロジェクトの実施を推進することを通じて、ジェンダー平等及び男女共同参画を促進していく」こととしている。

JICAは、ケニア「小規模園芸農民組織強化計画プロジェクト（Smallholder Horticulture Empowerment Project：以下、SHEP）（2006～2009年）」において、市場志向型農家経営の推進に取り組み、事業におけるジェンダー主流化を推進してきた。その結果、同プロジェクトでは、農家経営における男女共同参画が促進され、農家の生計向上に寄与したことが終了時評価調査時に確認された。

こうした取り組みをMOALFは高く評価し、SHEPにおけるジェンダー主流化の取り組みを省内に定着させ、園芸農家のみならず、他の作物生産に携わる農家に対しても普及していくために「ジェンダー視点に立った農業普及推進プロジェクト（以下、本プロジェクト）」をJICAに要請し、本プロジェクトは、2014年9月から2017年8月の3年間の予定で実施されている。

現在、ジェンダー専門家であるチーフアドバイザー、農業普及/モニタリング・評価の短期専門家に加え、業務調整/研修管理の長期専門家が派遣されている。また、MOALF内のプロジェクトユニット（PIU）には、本プロジェクト専任の職員（C/P）（ナショナル・プロジェクト・コーディネーター、研修担当（ジェンダー）、モニタリング・評価担当等）が配置されている。

本プロジェクトでは、プロジェクト期間を前期（2年間）と後期（1年間）に分け、前期で「ジェンダー主流化パッケージ」¹案を作成し、後期で同案の実証を通じて、パッケージを完成させ、MOALFを含む関係機関への頒布を行う計画である。より効果・

¹ 「ジェンダー主流化パッケージ」とは、男女共同参画型の農家経営を推進していくために、小規模農家支援事業において、ジェンダーの視点から実施していくべき一連の活動群、及びそれらの活動の実践にあたって必要な研修モジュール、チェックリスト、マニュアル、ガイドライン等の実践ツールをとりまとめたものを想定。SHEPで整備された園芸農家支援事業向けの各種ジェンダー関連研修プログラムや教材・ツールをベースとし、より広範な農家を対象とし適用可能なコンテンツを整備する。完成したパッケージは、ケニアMOALFの事業・研修の中で活用されることを目指す。

効率的なパッケージ開発のために、MOALF が実施する複数の小規模農家支援事業と連携し、それぞれの支援事業の対象地域を本プロジェクトのパイロット・サイトとして各種活動を展開している。これまでに、2 件の小規模農家支援事業を連携プロジェクトとして選定し、計 3 か所のパイロット・サイト（ニエリ郡：酪農事業、ブシア郡：キャッサバ事業、ムエア灌漑地区：稲作）で、「ジェンダー主流化パッケージ」案開発に向けての活動を進めている他、新たに 2 件程度の小規模農家支援事業を連携プロジェクトとして選定し、これらのプロジェクトの対象地域でパッケージ案の実証活動を行っている。また、2017 年 1 月から連携プロジェクトに導入した「ジェンダー主流化パッケージ」案の活用状況を確認し、エンドライン調査によりモニタリング評価を実施した。

今回実施する終了時評価調査は、2017 年 8 月のプロジェクト終了を控え、プロジェクト活動の実績、成果を評価、確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の類似事業の実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。

7. 業務の内容

本業務従事者は、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。なお、JICA 事業評価における評価基準・手続きについては監督職員より情報提供を行う。

具体的担当事項は次のとおりとする。

（1）国内準備期間（2017 年 4 月中旬～4 月下旬）

- ①既存の文献、報告書等（専門家業務完了報告書、合同調整委員会議事録、専門家現地業務結果報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存の PDM に基づき、評価 5 項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関、その他ケニア関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を作成する。
- ④対処方針会議等に参加する。

（2）現地業務期間（2017 年 4 月下旬～5 月下旬）

- ①JICA ケニア事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、本終了時評価の評価手法について説明を行う。
- ③事前に配布した質問票を回収、整理するとともにケニア側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、プロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤国内準備並びに上記②及び③で得られた結果をもとに、他の調査団員及びケニ

ア側 C/P 等とともに評価 5 項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。

- ⑥評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑦協議議事録（MM）（英文）の作成に協力する。
- ⑧現地調査結果の JICA ケニア事務所等への報告に参加する。

（3）帰国後整理期間（2017 年 5 月下旬～6 月上旬）

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ②帰国報告会に出席する。
- ③終了時評価調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- （1）評価報告書（英文）
- （2）担当分野に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）
- （3）評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」

（<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>）を参照願います。留意点は以下のとおり。

- （1）航空賃及び日当・宿泊料等
航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます（見積書に計上して下さい）。
航空経路は、日本⇒ナイロビ⇒日本（ソウル／ドバイ／ドーハ／アブダビ経由を想定）を標準とします。
- （2）本業務における人件費単価は、2017年度単価を上限とします。
（https://www.jica.go.jp/announce/information/20170220_02.html）

10. 特記事項

（1）業務日程／執務環境

①現地業務日程

本業務従事者の現地調査期間は2017年4月30日～2017年5月20日を予定しています。

本業務従事者は、JICAの調査団員に1週間先行して現地調査の開始を予定しています。

②現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) ジェンダーと開発（JICA）
- ウ) 協力企画/農業・農村開発（JICA）

エ) 評価分析 (コンサルタント)

なお、同時期にIEC(Information, Education, and Communication)の運営指導調査団1名も現地で活動する予定です。

③ 便宜供与内容

JICAケニア事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎
あり

イ) 宿舎手配
あり

ウ) 車両借上げ
全行程に対する移動車両の提供 (JICA 職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。)

エ) 通訳備上
なし

オ) 現地日程のアレンジ
JICAが必要に応じアレンジします。なお、JICA 職員等の団員到着前の関係機関へのアレンジについては、コンサルタントによるアポイント取り付けが必要となる場合があります。

カ) 執務スペースの提供
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供 (ネット環境完備)

(2) 参考資料

① 本業務に関する以下の資料を JICA 社会基盤・平和構築部 (eiggh@jica.go.jp) からメールで配布します。

- ・ PDM (最新版)
- ・ 2016年5月運営指導調査時作成資料 (A note on the findings of the JICA Mission)

② 本業務に関する以下の資料がJICA図書館のウェブサイトで公開されています。

- ・ ケニア共和国 男女共同参加型農家経営推進プロジェクト詳細計画策定調査報告書

<http://libopac.jica.go.jp/images/report/12152351.pdf>

- ・ ジェンダー視点に立った農業普及推進プロジェクト (JICAナレッジサイト)
<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWParentSearch/CC2AD636E43DA25D49257C940079DFFA?OpenDocument&pv=VW02040104>

(3) その他

① 業務実施契約 (単独型) については、単独 (1名) の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。

② 現地作業期間中は安全管理に十分留意してください。現地の治安状況については、JICA ケニア事務所などにおいて十分な情報収集を行うとともに、現地作業の安全確保のための関係諸機関に対する協力依頼及び調整作業を十分に行うこととします。また、同事務所と常時連絡が取れる体制とし、特に地方にて活動を行う場合は、現地の治安状況、移動手段等について同事務所と緊密に連

絡を取る様に留意することとします。また現地作業中における安全管理体制を
プロポーザルに記載してください。なお、現地業務に先立ち外務省「たびレジ」
に渡航予定の業務従事者を登録してください。

- ③本業務の実施にあたっては、「JICA不正腐敗防止ガイダンス（2014年10月）」
（<http://www2.jica.go.jp/ja/odainfo/pdf/guidance.pdf>）の趣旨を念頭に業務を行
うこととします。なお、疑義事項が生じた場合は、不正腐敗情報相談窓口また
はJICA担当者に速やかに相談してください。

以上